

HPR-West-05

大阪湾、春の陣

〈からす〉まぼろしの……

大会3日目（5月5日）。

今日は大阪湾内を大きく三角形に回るディスタンスレースです。

10時35分、西宮沖をスタート。

最初の回航地点、仮屋沖に設置されたブイの方向から13ノットくらいの気持ちいい風が吹いています。つまり真上り。

参加5艇は、思い思いのコースで六甲アイランドの沖を気持ちよく走ります。

が、1時間もしないうちに風は落ちてきて、まだらな風の中を悪戦苦闘することに……。

沖が伸びたと思ったら、岸からすーっと前が出る。風が入ったと思えばその先は……。

そんな右往左往の末に、〈エスプリ〉と〈からす〉が落ち着いた風をつかみます。

〈エスプリ〉は、若きタクティシャン長堀裕樹をベテランの小池祐司がストラテジックにカバーするというツーマン・アフターガード体制で。

対する〈からす〉は、タクティシャン仲川登がお馴染みのメンバーの意見をまとめあげるというスタイル。

14時21分。沖よりから淡々と走り続けていた〈スイング〉がトップで仮屋沖マークを回航。

揚げていたコードゼロのままタックしてそのままかなり落として走ります。

約2分遅れで〈エスプリ〉が、やはりコードゼロで続きます。

すぐ後に続く〈からす〉はジブリーチングで、まっすぐ次の回航地点、関空沖ブイを目指します。

5艇の中で、〈からす〉だけ、かなり個性的なデザインといえます。そもそもFAST40+と

して設計してないからか。全長のわりに水線長が極端に短くなっています。
これは計測上の水線長なので、実際に走っている時にはもっと長くなるはずですが。このあたり IRC ではどう評価されるのかよく分かりません。

DLR（排水量長さ比）は水線長を使った係数なので、5 艇の中で〈からす〉だけこの値が飛び抜けて大きくなっています。

マストの高さ（というか P の値）が大きいところも目に付きますが、ブームが短いので、メインセールのエリアはやや小さいくらいだと思います。ただ、ヘッドセールは大きいです。バルブは 5 艇の中でもっとも小さく。とはいえ、総重量は 5 艇の中で重い方です。

と、こういう〈からす〉がこの軽風下でどういう走りをするか。

コードゼロで大きくおとしてスピードで前に出ようという〈スイング〉。対して、高さで勝負の〈からす〉。

その間を航く〈エスプリ〉と、三者三様のドラッグレースとなりました。いや、これだとドラッグレースとは言えないか。

※ ※

向かうは関空沖の第 2 マーク。

ここまでコードゼロで北へおとしていた〈エスプリ〉のところには、風が入らず。僅かの差ですが、ジブリーチングでより南にいた〈からす〉のところには南からの風が入り前に出ます。

〈エスプリ〉同様、北へ落としていた〈スイング〉はなんとか走り続けるものの、〈エスプリ〉は完全に止まってしまいます。

そして、16 時 9 分。〈からす〉がトップ回航。

2 分遅れで〈スイング〉が。

そして、このレグ、〈からす〉同様ジブで高さを稼ぎ南海面にいた後続の〈ブラック〉も大きく順位を上げ、〈スイング〉から 1 分遅れで関空ブイ回航。ということは、修正では勝っています。仮屋沖マークでは大きく遅れていたのですが、ここで大逆転ということになります。

そして、仮屋沖では 2 番手、修正ではトップだったはずの〈エスプリ〉はなんと大きく遅

れ、トップから 20 分以上離されて最後に通過。

いやはや、波乱とドラマの大阪湾大三角形レースは、最後のレグでさらなる大逆転はおきるのか。

というところで、なんと 17 時 30 分のタイムリミットに間に合わず、全艇 DNF。ディスタンスレースは中止となりました。

ここまで書いていてガックリなのですが。
結果は出ませんでした、見応えのある 1 日でした。

明日（5 月 6 日）は最終日。
インショアレースが行われます。

